

意見陳述（要旨）

神奈川県教育委員会
教育長 花田 忠雄 様

2026 年度に向けて、全日制を希望する子は全日制で、
定時制を希望する子は定時制で、通信制を希望する子は通信制で、
子どもたちが安心して学べるように、十分な条件整備をもとめる請願

2025 年 8 月 5 日

かながわ定時制・通信制・高校教育を考える懇談会
事務局 保永 博行

この請願では 8 項目の要求がありますが、その中心は、「93.5%の全日制進学率の実現」（請願項目 3）と「少人数学級実現」（請願項目 8）です。

「公私立高校の授業料完全無償化」については、昨年度本懇談会提出の請願の要求項目に入っていましたが、2025 年度（公立）、2025 年度～2026 年度（私立）と実現に向けて計画されています。

「93.5%の全日制進学率の実現」（請願項目 3）の理由は、

教育の量の確保

- ① 「適正な全日制進学率の実現」は「生徒の人権」です。
- ② 93.5%の全日制進学率の実現は、神奈川県にとって、決して不可能でないし、他の都道府県とくらべても無理のない数値です。
- ③ 93.5%は 1999 年の「県立高校改革推進計画」で県が県民に約束した数値です。

「少人数学級実現」（請願項目 8）の理由は

教育の質の確保

- ① クラス人数は、生徒が 1 日の大半を過ごす重要な環境です。
- ② 学習のためにはある程度濃密な関係が必要であり、大人数は不向きです。
- ③ 少人数クラスの方が理解も深まり効率的です。また学習は、互いの討論によっても深まります。

全日制進学率が 2022 年春 89.6%と 80%台に再び低下し、2023 年 89.3%、2024 年 88.2%、2025 年 87.9%と、今も継続していることに、危機感を覚えます。

「全日制進学率の低下」は「県立高校の募集定数が充足できていない」ことが主な原因です。また、10 月に実施される中学 3 年生への「公立中学等卒業予定者の進路希望の状況」でも、ここ数年「県立高校への希望率の低下」が見られます。

2016 年から始まった「県立高校改革（県立高校改革実施計画）」で、今の県立高校が中学生にどう映っているのか。改善すべき点はないのか、よく検討して、県立高校のあり方を改善し、生徒の実態と要求に合った募集計画を策定しなければなりません。

以上、よろしくご検討お願い申し上げます。

